第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事　業　名	体育振興及び指導事業				事業期間	― 年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	― ―	― ―	― ―	― ―	― ―	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	体育指導員の活動の活性化を図り、スポーツ活動を通じ、市民の健康を保持・増進させる。							手段（どのような方法で実現するのか）	体育指導委員の会議を開催し、年間事業について検証するとともに、体育館の有効利用についても意見を交換する。また、外部講師を招き、スポーツに対して関心を持てるような事業、又はスポーツの基礎を学べる事業を展開する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	市民							成果（どのような効果が得られるのか）	市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しみ、サークル活動等を通して健康づくり、余暇の充実を図ることができるようになる。 また、体育施設の有効利用を図ることができる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	スポーツ推進委員を選任し、体育指導を行うとともに、外部講師を招き、各種事業を開催している。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	129,000	129,000	129,000	387,000	59,000	59,000	59,000	177,000	59,000	59,000	59,000	59,000	236,000	800,000
		予算計上額	129,000	57,000	59,000	245,000	59,000			59,000					0	304,000
		実績額	0	28,000	28,000	56,000				0					0	56,000
	事業費合計	計画額	129,000	129,000	129,000	387,000	59,000	59,000	59,000	177,000	59,000	59,000	59,000	59,000	236,000	800,000
		予算計上額	129,000	57,000	59,000	245,000	59,000	0	0	59,000	0	0	0	0	0	304,000
		実績額	0	28,000	28,000	56,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,000
	事業費予算の内容		指導報償	指導報償	指導報償		指導報償									
	前年度予算との比較（増減理由）		前年度同額	事業の講師を外部講師から地域おこし協力隊に変更したことによる減	講師の人数調整に係る増		前年度同額									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイスるの影響により事業が中止となったため	想定より講師数や報酬額が少なくなった事業があったため	講師の欠席に伴う減額											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：事業数	指標の求め方：事業数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：事業参加延人数	指標の求め方：事業数×1事業当たり30人

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
				第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/数）	計画値	7	7	7		7	7	7		7	7	7	7		
			実績値	5	6	5											
		成果指標１（単位/人）	計画値	120	120	120		120	120	120		120	120	120	120		
			実績値	16	114	69											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					変わらない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					少し上がっている										
		総合評価					良好である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業があるが、開催した事業の参加者からは概ね好評だった。	自己分析：概ねコロナ前の参加者数で推移しているが、協力隊が講師を務める事業については、好評のためほぼ倍増している。	自己分析：出前講座ノルディックウォーキングと歩くスキー教室については、概ね計画通りの成果となった。出前講座については、要望に沿った事業を実施することができた。	判断理由：新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、事業数・参加者数ともに計画値をほぼ達成できており、参加者数が増加している事業もあることから「良好である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：一定程度目的は達成されているが、事業によっては参加者が固定されているものもあることから、地域おこし協力隊のSNS等も利用しながら周知方法を見直すなどして「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	少年スポーツ教室開催事業				事業期間	昭和51年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	― ―	― ―	― ―	― ―	― ―	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	スポーツに接する場を増やし、スポーツに関する知識や技術を身につけ場を提供する。 また、スポーツ活動を通して、基礎体力の向上、心身の健全育成をはかる。							手段（どのような方法で実現するのか）	各競技連盟に、少年スポーツ教室の開催を委託し、各連盟に20,000円の謝礼を払う。 教室は、４種目で、各種目10回開催する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	少年（スポーツ少年団も含む）							成果（どのような効果が得られるのか）	多くの少年達がスポーツに接する場が増え、スポーツに関する知識や技術を身につけることができる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	少年スポーツ教室は、４競技種目（軟式野球、サッカー、剣道、バスケットボール）を、各種目10回スポーツ教室を各競技連盟に委託し開催している。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000
		予算計上額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000			80,000					0	320,000
		実績額	80,000	80,000	80,000	240,000				0					0	240,000
	事業費合計	計画額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000
		予算計上額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	0	0	80,000	0	0	0	0	0	320,000
		実績額	80,000	80,000	80,000	240,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240,000
	事業費予算の内容		スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼		スポーツ教室指導謝礼									
	前年度予算との比較（増減理由）		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
	実績との比較（増減理由）		同額	同額	同額											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：事業延回数	指標の求め方：種目数（4種目）×開催回数（10回）
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：参加延人数	指標の求め方：参加延人数

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/回） 計画値	40	40	40		40	40	40		40	40	40	40		
		実績値	63	61	59											
		成果指標１（単位/人） 計画値	1,100	1,100	1,100		1,100	1,100	1,100		1,100	1,100	1,100	1,100		
		実績値	1,707	1,300	1,449											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				上がっている										
		総合評価				良好である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：コロナウイルス感染症対策を行いながら、例年通り実施が出来た。また、参加延べ人数が前年より大幅に増加した。	自己分析：事業回数及び参加人数は計画値を上回ったが、参加人数が前年より大幅に減少した。	自己分析：指標上は各実績値がいずれも計画値を上回っていることから、各事業が当初の計画通り適正に実施されたと考えている。	判断理由：事業回数及び参加人数ともに計画値を超えて継続されており、一定の成果をあげていることから「良好である」と判断する。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：スポーツ少年団員の知識や技術の向上はもとより、スポーツ活動の推進につながるものであることから「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	スポーツ協会活動支援事業				事業期間	― 年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	市民の自主的な体育活動を支援することにより、砂川市における各種スポーツ活動を普及させる。							手段（どのような方法で実現するのか）	砂川市スポーツ協会及び、砂川市スポーツ協会加盟団体の少年団に補助金を交付する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	砂川市スポーツ協会及び加盟団体。							成果（どのような効果が得られるのか）	体育団体の運営が維持されるとともに、自主的なスポーツ団体活動を助長させる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	行財政改革により、平成20年度から１割削減する団体補助の見直しが図られている。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	368,000	1,472,000	3,680,000
		予算計上額	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000			368,000					0	1,472,000
		実績額	350,400	345,600	337,200	1,033,200				0					0	1,033,200
	事業費合計	計画額	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	368,000	1,472,000	3,680,000
		予算計上額	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	0	0	368,000	0	0	0	0	0	1,472,000
		実績額	350,400	345,600	337,200	1,033,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,033,200
	事業費予算の内容		体育協会補助金 183,000円 スポーツ少年団育成補助金 185,000円	体育協会補助金 183,000円 スポーツ少年団育成補助金 185,000円	体育協会補助金 183,000円 スポーツ少年団育成補助金 185,000円		スポーツ協会補助金 183,000円 スポーツ少年団育成補助金 185,000円									
	前年度予算との比較（増減理由）		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
	実績との比較（増減理由）		スポーツ少年団員の増加による増額	スポーツ少年団員の減少により減額	団員数の減少に伴う減											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：スポーツ協会補助金、スポーツ少年団補助金	指標の求め方：スポーツ協会補助金、スポーツ少年団補助金
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：スポーツ協会登録団体、スポーツ少年団登録人	指標の求め方：スポーツ協会登録団体、スポーツ少年団登録人数

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
				第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/円）	計画値	368,000	368,000	368,000		368,000	368,000	368,000		368,000	368,000	368,000	368,000		
			実績値	350,400	345,600	337,200											
		成果指標１（単位/団体、人）	計画値	24団体　228人	24団体　228人	24団体　228人		24団体　228人	24団体　228人	24団体　228人		24団体　228人	24団体　228人	24団体　228人	24団体　228人		
			実績値	22団体　187人	22団体　143人	21団体　131人											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					変わらない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					変わらない										
		総合評価					普通である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：少年団の登録人数はここ数年ほぼ横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考える。	自己分析：少年団の登録人数は前年に比べ減少したが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考える。	自己分析：過疎や競技人口の減少などの要因により協会加盟団体数や少年団員数が減少しているものと考えられる。	判断理由：少子化の影響もあり、少年団の登録人数は減少傾向にあるが、補助金を交付することで少年団の運営維持に繋がっており、子ども達に様々なスポーツを経験する場として大きな役割を果たしていることから、「普通である」と判断する」。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考えることから、活動を支えるために継続した助成、連携が必要であることから「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【ＰＬＡＮ】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	スポーツ大会開催及び出場助成事業				事業期間	― 年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	― ―	― ―	― ―	― ―	― ―	所管課係	スポーツ振興課振興係

目的（何のために実施するのか）	道・管内事業の運営経費や全国大会等に出場する個人・団体の出場経費の一部を補助することにより、事業開催や大会出場等を奨励し、スポーツへの関心や参加意欲の向上を図り、スポーツの振興につなげる。	手段（どのような方法で実現するのか）	地元開催大会助成（市又は教育委員会が共催もしくは後援する大会等であって、かつ、砂川市内のアマチュアスポーツ団体が開催するもの）、競技大会出場助成（全道大会・全国大会・世界大会の出場者）。
対象（誰・何を対象としているのか）	道・管内のスポーツ事業を共催又は主管して開催する体育団体及び個人。 全道・全国・世界大会の出場者。	成果（どのような効果が得られるのか）	地元開催の大会助成については、事業費を助成することにより、主催者及び参加者の負担を軽減し、内容の充実した事業を行うことができる。 大会出場に対する助成については、全道・全国・世界大会出場者の負担を軽減することにより、スポーツ事業への参加を促進することができる。

事業開始時の状況・これまでの経緯	スポーツ大会への出場、または大会の地元開催を促進するためにスポーツ振興補助金により助成を行ってきたが、行政改革により、助成内容を見直してきている。 平成17年度に大会出場の補助率を2/3から1/3に下げたが、その一方で、平成19年度には、小中学校の部活動における選手、監督は、市外居住者も対象とした。 また、大会開催助成では、地元開催大会である、「ｱﾒﾆﾃｨﾀｳﾝＩＮすながわ少年サッカー大会」の補助金を200千円から180千円に減額した。 特別枠である、剣道連盟大会出場助成については、水戸大会を打切りとし、義士サミット剣道大会のみとした。

【ＤＯ】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,265,000	1,265,000	1,265,000	3,795,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	5,463,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	7,284,000	16,542,000
		予算計上額	1,265,000	1,221,000	1,821,000	4,307,000	1,821,000			1,821,000					0	6,128,000
		実績額	893,233	1,662,925	1,302,700	3,858,858				0					0	3,858,858
	事業費合計	計画額	1,265,000	1,265,000	1,265,000	3,795,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	5,463,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	1,821,000	7,284,000	16,542,000
		予算計上額	1,265,000	1,221,000	1,821,000	4,307,000	1,821,000	0	0	1,821,000	0	0	0	0	0	6,128,000
		実績額	893,233	1,662,925	1,302,700	3,858,858	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,858,858
	事業費予算の内容		地元開催大会助成及び全国・全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全国・全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全国・全道大会出場助成		地元開催大会助成及び全国・全道大会出場助成									
	前年度予算との比較（増減理由）		最近の補助実績から算出	最近の補助実績から算出	最近の補助実績から算出		最近の補助実績から算出									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった大会が多かったため、助成が減少した。	全国大会及び国際大会に出場した個人・団体の増	全道大会等の出場件数（補助申請件数）の減											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：補助金申請件数	指標の求め方：補助金申請件数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：全道大会等出場者延人数	指標の求め方：全道大会等出場者延人数

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画
				第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	合計
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/件）	計画値	50	50	50		50	50	50		50	50	50	50		
			実績値	13	14	9											
		成果指標１（単位/人）	計画値	50	50	50		50	50	50		50	50	50	50		
			実績値	59	61	27											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					上がっている										
		総合評価					良好である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：競技レベルの高い全道・全国大会参加への支援により、競技力の向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	自己分析：競技レベルの高い全道・全国大会参加への支援により、競技力の向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	自己分析：年度ごとに指標の実績値に増減があるものの、全道大会や全国大会並びに国際大会への出場者に対し経費面での支援を行うことで、スポーツ活動を奨励することができており行政の役割を果たすことができている。	判断理由：補助金申請件数は計画値を下回っているが、中には全国大会での上位入賞や国際大会の出場者も出るなど、補助金を交付することで競技者の負担軽減を図り、競技力の向上に繋がっていることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					拡大										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：市外の団体に所属する市民は補助の対象外となっているが、市外の団体に所属する市民が全道・全国大会へ出場していることや、市内にはないスポーツ団体での出場もあることから、市外団体に所属する市民も対象となるよう改善を図る必要があることから「拡大」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事　業　名	全道中学生剣道錬成大会交付金事業				事業期間	平成２年度　～　―　年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	－　－	－　－	－　－	－　－	－　－	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	はまなす国体を記念して、砂川市で開催されている北海道中学生剣道大会に対する経費補助をすることにより、北海道の中学生剣士が一堂に会し技と心を競い合いながら友情と交流を深める機会を提供し、青少年の健全育成を図る。							手段（どのような方法で実現するのか）	大会の運営を手伝うとともに、開催経費の一部を補助する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	大会参加者							成果（どのような効果が得られるのか）	北海道中学生剣道錬成大会を円滑に開催することができ、多くの北海道の中学生剣士が一堂に会し技と心を競い合いながら友情と交流を深める機会を拡大する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	平成元年に開催された「はまなす国体剣道大会」を記念し、翌年から実施している。 行革改革により平成20年度から10%削減されている。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000
		予算計上額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000			632,000					0	2,528,000
		実績額	0	632,000	632,000	1,264,000				0					0	1,264,000
	事業費合計	計画額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000
		予算計上額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	0	0	632,000	0	0	0	0	0	2,528,000
		実績額	0	632,000	632,000	1,264,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,264,000
	事業費予算の内容		交付金	交付金	交付金		交付金									
	前年度予算との比較（増減理由）		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったため未支給	同額	同額											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：補助金支出額（円）	指標の求め方：補助金支出額（円）
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：参加チーム、参加者数	指標の求め方：146チーム×6人

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
				第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/円）	計画値	632,000	632,000	632,000		632,000	632,000	632,000		632,000	632,000	632,000	632,000		
			実績値	0	632,000	632,000											
		成果指標１（単位/チーム、人）	計画値	46チーム　876人	46チーム　876人	46チーム　876人		46チーム　876人	46チーム　876人	46チーム　876人		146チーム　876人	46チーム　876人	46チーム　876人	46チーム　876人		
			実績値	0	14チーム　634人	21チーム　661人											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					変わらない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					変わらない										
		総合評価					良好である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。	自己分析：参加チーム数・人数ともに計画値を下回っているが、全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析：成果指標の実績値は計画値を下回っているものの、当日の会場の様子などから行事が活況であることを確認しており、技の競い合いとともに選手間の交流が図られるなど、総合的に判断し補助金が有効活用されていると判断できる。	判断理由：毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着していることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着していることから「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○

事業名	市民体育祭交付金事業				事業期間	昭和42年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	所管課係	スポーツ振興課振興係

目的（何のために実施するのか）	市民皆スポーツを目指し、市民のためのスポーツ活動を積極的に奨励するとともに、健康増進を図ることを目的とする。	手段（どのような方法で実現するのか）	市民体育祭を実施したスポーツ団体（登録数２２団体）に実行委員会（体協）を通じて開催経費の一部として１団体当たり27,000円を交付する。
対象（誰・何を対象としているのか）	市民体育祭への参加者	成果（どのような効果が得られるのか）	市民の健康及び体力つくりが図られる。
事業開始時の状況・これまでの経緯	平成25年度までは指定管理者の事業として実施してきたが、平成26年度からスポーツ振興課の事業に変更した。		

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	5,670,000
		予算計上額	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000			567,000					0	2,268,000
		実績額	297,000	378,000	351,000	1,026,000				0					0	1,026,000
	事業費合計	計画額	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	5,670,000
		予算計上額	567,000	567,000	567,000	1,701,000	567,000	0	0	567,000	0	0	0	0	0	2,268,000
		実績額	297,000	378,000	351,000	1,026,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,026,000
	事業費予算の内容		交付金	交付金	交付金		交付金									
	前年度予算との比較（増減理由）		同額	同額	同額		同額									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため	大会を開催しない競技団体があったため。	競技人口の減少や日程調整が難航し大会を中止した団体が複数あったため。											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：交付金支出額	指標の求め方：交付金支出額
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：参加人数	指標の求め方：参加人数

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/千円） 計画値	567	567	567		567	567	567		567	567	567	567		
		活動指標１（単位/千円） 実績値	297	378	351											
		成果指標１（単位/人） 計画値	1,400	1,400	1,400		1,400	1,400	1,400		1,400	1,400	1,400	1,400		
		成果指標１（単位/人） 実績値	530	592	724											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				変わらない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				変わらない										
		総合評価				普通である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止とした競技団体があったため、例年に比べて参加者は減少しているが、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与している。	自己分析：様々な競技で催しが実施されており、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与している。	自己分析：競技人口が年々減少するなどして、大会開催が困難となる状況があり、そのことが指標に現れている。しかし、各競技種目ごとに様々な事情を抱えながらも大会開催とその運営にかかわる関係者がおり、官民が一体となり、協働でスポーツ活動を奨励するものである。	判断理由：毎年恒例のスポーツ行事として定着し、各競技団体が主体となって大会等を開催している。様々な競技で実施されており、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与していることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：毎年恒例のスポーツ行事として定着し、各競技団体が主体となって大会等を開催しており、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与していることから「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	海洋スポーツ振興事業				事業期間	昭和52年度 ～ ― 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	― ―	― ―	― ―	― ―	― ―	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	施設を開放し、海洋スポーツの普及と市民の体力づくりを推進する。							手段（どのような方法で実現するのか）	平日は団体利用（申込必要）とし、土・日曜日は一般開放する。また、常時、指導員を配置し、利用者を指導する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	市民及び小中高生の体験学習。							成果（どのような効果が得られるのか）	いつでも安心して利用できるので、利用が促進される。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	昭和52年、北光公園内にＢ＆Ｇ財団の補助を受け艇庫を開設し、指導員を配置して海洋スポーツが内陸でも楽しめる場として開放している。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,443,000	858,000	1,478,000	3,779,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	4,887,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	6,516,000	15,182,000
		予算計上額	1,443,000	1,563,000	585,000	3,591,000	2,476,000			2,476,000					0	6,067,000
		実績額	154,195	1,243,199	501,522	1,898,916				0					0	1,898,916
	事業費合計	計画額	1,443,000	858,000	1,478,000	3,779,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	4,887,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	1,629,000	6,516,000	15,182,000
		予算計上額	1,443,000	1,563,000	585,000	3,591,000	2,476,000	0	0	2,476,000	0	0	0	0	0	6,067,000
		実績額	154,195	1,243,199	501,522	1,898,916	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,898,916
	事業費予算の内容		指導報償 旅費 需用費 車借上料 備品購入費	指導報償 旅費 需用費 車借上料 備品購入費	指導報償 旅費 需用費 車借上料 備品購入費		指導報償 旅費 需用費 車借上料 備品購入費 会議出席負担金									
	前年度予算との比較（増減理由）		B&G指導員研修旅費等の増	B&Gスポーツ交流交歓会開催に係る旅費の減、備品購入費の増	B&G指導員研修旅費等の減		旅費の増 車借上料の増 備品購入費の増 会議出席負担金の増									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイルス感染症により、B&G指導員研修及びB&Gスポーツ大会が中止となったため	車借上料、備品購入費の減	指導報償、車借上料の減											

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：開放日数	指標の求め方：開放日数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：利用人数（人）、1日当たりの利用人数（人）	指標の求め方：利用人数／開放日数

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
				第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/日）	計画値	52	52	52		52	52	52		52	52	52	52		
			実績値	27	36	43											
		成果指標１（単位/人、人）	計画値	6,300人　121人	6,300人　121人	6,300人　121人		6,300人　121人	6,300人　121人	6,300人　121人		6,300人　121人	6,300人　121人	6,300人　121人	6,300人　121人		
			実績値	1,815人　67人	5,531人　153人	7,028人　163人											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					上がっている										
		総合評価					良好である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症により、各種事業が中止となったことをはじめ、緊急事態宣言により艇庫の開放日も減少した。それに伴い、利用者も減少している。	自己分析：悪天候により利用中止もあったが、新型コロナウイルス感染症発生前の利用者数に戻りつつある。	自己分析：活動指標については、実績値が計画値に達していないものの、コロナ禍の影響を受けながらも3年度以降は利用者数が回復傾向にあり、令和5年度は成果指標の実績値が計画値を上回った。	判断理由：新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、学校による宿泊学習の際の体験学習としての利用が多いことから、新たなニーズへの対応として近年人気のあるサップを導入するなど、利用団体からは好評をいただいていることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：利用者数は天候に作用されることが多く、年単位で評価することは難しいが、着実に市内外に艇庫の事業が浸透しつつあり、利用者からは好評をいただいていることから「現状のまま継続」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事　業　名	スポーツ振興事業（アメニティ・タウンすながわマラソン大会）				事業期間	昭和63年度　～　―　年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	－　－	－　－	－　－	－　－	－　－	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	マラソンを通じスポーツの振興はもとより、ハイウェイオアシス館の利用促進やスマートインターチェンジの利用など商工振興につなげる。							手段（どのような方法で実現するのか）	事業費補助金及び各社協賛品。					
対象（誰・何を対象としているのか）	大会要項に規定する参加者。							成果（どのような効果が得られるのか）	大会を運営するうえで、ハイウェイオアシス館には、人気のある店舗があり、着替えの場所やトイレが完備されていることから、商工振興を併せた定着したマラソン大会となっている。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	昭和63年から実施。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	4,968,000	12,420,000
		予算計上額	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000			1,242,000					0	4,968,000
		実績額	0	0	918,283	918,283				0					0	918,283
	事業費合計	計画額	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	1,242,000	4,968,000	12,420,000
		予算計上額	1,242,000	1,242,000	1,242,000	3,726,000	1,242,000	0	0	1,242,000	0	0	0	0	0	4,968,000
		実績額	0	0	918,283	918,283	0	0	0	0	0	0	0	0	0	918,283
	事業費予算の内容		スポーツ振興事業費補助	スポーツ振興事業費補助	スポーツ振興事業費補助		スポーツ振興事業費補助									
	前年度予算との比較（増減理由）		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
	実績との比較（増減理由）		新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったため未支給	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったため未支給	事業実施後の精算に伴う減											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：事業数	指標の求め方：事業数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：事業延べ参加人数	指標の求め方：事業数１回×３９０人

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画
				第１年次 (3年度)	第２年次 (4年度)	第３年次 (5年度)	実施３カ年合計	第４年次 (6年度)	第５年次 (7年度)	第６年次 (8年度)	実施３カ年合計	第７年次 (9年度)	第８年次 (10年度)	第９年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施４カ年合計	合計
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/回）	計画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
			実績値	0	0	1											
		成果指標１（単位/人）	計画値	390	390	390		390	390	390		390	390	390	390		
			実績値	0	0	306											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					達成されていない										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					上がっていない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					上がっていない										
		総合評価					普通である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。	自己分析：令和元年度大会以来4年ぶりの開催となり、「参加者離れ」が心配される状況であったが、300人を超える参加者があったことはある程度の評価に値するものと考えている。	判断理由：新型コロナウイルス感染症の発生以降、大会は中止となっており、判断することができないことから「普通である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					手段の見直し										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：コース周辺は熊の出没が多く、ランナーの安全を確保しながら大会を開催することが難しくなっていることから、コース変更等も含めた検討が必要なため「手段の見直し」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	○	過疎計画掲載	×

事　業　名	いきいき元気推進事業				事業期間	令和３年度　～　令和12年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外		第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	1－2－1	1－5－1	－　－	－　－	－　－	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	保健部局等との連携による、健康・体力づくり							手段（どのような方法で実現するのか）	親子でのスポーツレクリエーション活動 専門のインストラクターによる生活習慣改善指導等					
対象（誰・何を対象としているのか）	レクリエーション活動等に参加できる幼児から高齢者まで（生活習慣改善対象者を含む）							成果（どのような効果が得られるのか）	健康寿命の延伸につながる					
事業開始時の状況・これまでの経緯														

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	7,758,000	7,558,000	7,558,000	22,874,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	42,963,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	57,284,000	123,121,000
		予算計上額	7,758,000	12,264,000	12,501,000	32,523,000	14,321,000			14,321,000					0	46,844,000
		実績額	6,917,089	9,751,236	11,507,340	28,175,665				0					0	28,175,665
	事業費合計	計画額	7,758,000	7,558,000	7,558,000	22,874,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	42,963,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	14,321,000	57,284,000	123,121,000
		予算計上額	7,758,000	12,264,000	12,501,000	32,523,000	14,321,000	0	0	14,321,000	0	0	0	0	0	46,844,000
		実績額	6,917,089	9,751,236	10,159,406	26,827,731	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,827,731
	事業費予算の内容		報酬 旅費 需用費 借上料 備品購入費	報酬 旅費 需用費 借上料 備品購入費	報酬 旅費 需用費 借上料 備品購入費		報酬、職員手当等、共済費、旅費、需用費、手数料、健康診断委託料、使用料及び賃借料　等									
	前年度予算との比較（増減理由）			地域おこし協力隊を2→3名に増員したことによる増	職員手当等の増		職員手当等の増、旅費の増、消耗品費の増、健康診断委託料の増、建物借上料の増　等									
	実績との比較（増減理由）		地域おこし協力隊の1名がアパートを借りなかったことによる建物等借上料の減	手数料の減	費用弁償と期末手当及び手数料の減											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：事業延べ回数	指標の求め方：事業延べ回数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：利用者延べ人数（レクリエーション活動を	指標の求め方：12回×４０人

				第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
				第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/回）	計画値	12	12	12		12	12	12		12	12	12	12		
			実績値	1	50	64											
		成果指標１（単位/人）	計画値	480	480	480		480	480	480		480	480	480	480		
			実績値	16	441	732											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）					ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）					上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）					上がっている										
		総合評価					良好である										
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：10月のトレーニングルーム開設準備や、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響もあり、事業回数や利用者は大きく下回ったが、参加者からは好評だった。	自己分析：協力隊が「いきいきシニアプログラム」の講師を行うこととなり、事業回数の計画値を大幅に上回った。	自己分析：活動指標については、引き続き地域おこし協力隊が「いきいきシニアプログラム」の講師を担当することに伴い計画値を上回っている。成果指標については、事業回数の増加に伴い実績値が計画値を上回っている。	判断理由：協力隊がトレーニングルームの運動指導だけではなく、「いきいきシニアプログラム」の講師や独自事業として講座を行うことで、市民の健康増進に繋がっていることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					拡大										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）			R5：現状の活動に加えて、様々なニーズに合わせた講座の実施や他部署と連携した健康増進を図るための取組みをさらに進めていくため「拡大」とする。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	レクリエーション運動・各種スポーツ教室開催事業	事業期間	令和３年度 ～ ― 年度

事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第７期総合計画の位置付け	3－5－1	他に関連する基本事業	1－3－1	1－5－1	－ －	－ －	－ －	所管課係	スポーツ振興課振興係

目的 (何のために実施するのか)	レクリエーション運動やスポーツ教室を通じて、健康的で地域との交流がある豊かな生活を送れるようにする。また、障がい者の参加も積極的に受け入れ交流の場を広げる。	手段 (どのような方法で実現するのか)	講師を招き、レクリエーション運動や各種スポーツ教室を開催する。障害の程度に合わせ参加を促す。第1次実施計画においては地域おこし協力隊を講師として活用することで「いきいき元気推進事業」との連携をはかり、事業を地域に定着させる。
対象 (誰・何を対象としているのか)	レクリエーション及びスポーツ教室に参加できる市民。	成果 (どのような効果が得られるのか)	一般の市民はもとより、障がい者の基礎体力の向上などを促すとともに、地域の障がい者への理解を深め、交流が活性化する。また、これまで体育館を利用していなかった障がい者及び関係の団体の利用につながる。
事業開始時の状況・これまでの経緯	令和３年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より、同大会で使用したシッティングバレー及びボッチャの床材が無償譲渡されたことから、各競技を行う際の必要な備品を整備した。		

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	0	0	0	0				0					0	0
		予算計上額	0	0	0	0	340,000			340,000					0	340,000
		実績額	0	0	280,000	280,000				0					0	280,000
	事業費合計	計画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		予算計上額	0	0	0	0	340,000	0	0	340,000	0	0	0	0	0	340,000
		実績額	0	0	280,000	280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280,000
	事業費予算の内容						講師謝礼 旅費 宿泊費									
	前年度予算との比較（増減理由）						皆増									
	実績との比較（増減理由）				当初予算には計上しておらず補正予算により対応したため皆増となった。											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：事業数	指標の求め方：事業数
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：事業延べ参加人数	指標の求め方：事業数１回×３０人

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位/回） 計画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
		活動指標１（単位/回） 実績値	1	1	1											
		成果指標１（単位/人） 計画値	30	30	30		30	30	30		30	30	30	30		
		成果指標１（単位/人） 実績値	29	29	77											
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				ほぼ達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				少し上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：東京オリンピック・パラリンピックで使用した床材を使用し、パラスポーツであるシッティングバレーとボッチャ競技の体験会を行い、参加者からは好評だった。	自己分析：昨年に引き続きボッチャ競技の体験会を行い、障がい者の方も含めた老若男女で交流ができ、参加者からは好評だった。	自己分析：元バスケットボール日本代表で東京2020オリンピック銀メダリスト　三好南穂氏を講師としてバスケットボールクリニック（教室）を開催し、実技指導や、質疑応答、サイン会や記念撮影を行った。参加者による肯定的な意見が多数あり、事業として評価できるものであった。	判断理由：親子わいわいすぽーつらんどやパラスポーツ体験会を開催し、老若男女や障がい者の方でも運動に触れることができる環境を作ることができていることから「良好である」とする。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：「現状のまま継続」しつつ、これまで体育館を利用することが少なかった障がい者や関係団体にも使用してもらえるよう働きかけを行っていく。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	総合体育館トレーニング機器導入事業				事業期間	令和３年度 ～ 令和３年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第７期総合計画の位置付け	3−5−2	他に関連する基本事業	− −	− −	− −	− −	− −	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	体育施設の整備充実に努めることにより、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。							手段（どのような方法で実現するのか）	総合体育館へのトレーニング機器配置。					
対象（誰・何を対象としているのか）	総合体育館トレーニング機器及びその利用者。							成果（どのような効果が得られるのか）	保健部局との連携により市民の健康増進、運動機会の増加が図られ、総合体育館の利用促進につながる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	過去、総合体育館ではトレーニング室を備え各種トレーニング機器を市民に開放していたが、行革などの影響により老朽化や故障した機器の更新等を実施することができない状況であったことから撤去したが、健康増進への関心の高まりもあり、総合体育館へのトレーニング機器の再設置について要望が寄せられていたことから、令和３年10月にトレーニングルームを開設し、トレーナーとして地域おこし協力隊を任用した。 トレーニング機器は競技力向上、運動不足解消、生活習慣病・介護予防など利用者各自が年齢、体力、目的に合わせて利用でき、スポーツ活動拠点としての総合体育館の機能強化・利用促進につながるものである。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額	3,359,000			3,359,000				0					0	3,359,000
		予算計上額	4,199,000			4,199,000				0					0	4,199,000
		実績額	4,199,000			4,199,000				0					0	4,199,000
	一般財源	計画額	19,041,000			19,041,000				0					0	19,041,000
		予算計上額	18,201,000			18,201,000				0					0	18,201,000
		実績額	18,201,000			18,201,000				0					0	18,201,000
	事業費合計	計画額	22,400,000	0	0	22,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,400,000
		予算計上額	22,400,000	0	0	22,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,400,000
		実績額	22,400,000	0	0	22,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,400,000
	事業費予算の内容		備品購入費													
	前年度予算との比較（増減理由）															
	実績との比較（増減理由）		同額													

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：成果指標の設定が困難であることから設定しない

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位／　）計画値														
		活動指標１（単位／　）実績値														
		成果指標１（単位／　）計画値														
		成果指標１（単位／　）実績値														
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				上がっている										
		総合評価				極めて良好である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響で利用人数の制限をしているが、利用待ちが出る日もあり利用者からは好評をいただいている。	自己分析：	自己分析：	判断理由：令和４年度は１日平均34.5人の方がトレーニングルームを利用しており、トレーニング機器を導入したことで、健康増進及び運動機会を図るための環境を整えることが出来た。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				完了										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：令和３年度にトレーニング機器を導入し、事業が完了した。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○

事業名	艇庫整備事業				事業期間	令和５年度 ～ 令和５年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第７期総合計画の位置付け	3－5－2	他に関連する基本事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	所管課係	スポーツ振興課海洋センター管理係
目的（何のために実施するのか）	体育施設の整備充実に努めることにより、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。							手段（どのような方法で実現するのか）	海洋センター艇庫やカヌー乗り場の整備を行う。現在はカヌーが半分水に漬かった状態でカヌーの乗り降りを行っており、障がい者や高齢者の乗り降りには不便であるため、カヌーを水場にスライドさせるためのマット等を敷き、陸地での乗り降りを可能にする。						
対象（誰・何を対象としているのか）	海洋センター艇庫利用者。特に障がい者や高齢者等のカヌーの乗り降りが困難である利用者。							成果（どのような効果が得られるのか）	施設の長寿命化が図られ、効果的な維持管理ができるとともに、カヌー乗場を改修することで、乗り降りが楽になり障害者や高齢者の施設利用につながる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯														

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額			1,100,000	1,100,000				0					0	1,100,000
		予算計上額			0	0	0			0					0	0
		実績額			0	0				0					0	0
	事業費合計	計画額	0	0	1,100,000	1,100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100,000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費予算の内容						乗降場整備は課題事項であり、今年度は応急措置をとりながら運営していくこととなる。									
	前年度予算との比較（増減理由）															
	実績との比較（増減理由）				明確な整備計画がなく、事業が先送りとなっている現状である。											

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：成果指標の設定が困難であることから設定しない

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位／　）計画値														
		活動指標１（単位／　）実績値														
		成果指標１（単位／　）計画値														
		成果指標１（単位／　）実績値														
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				達成されていない										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				変わらない										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				変わらない										
		総合評価				普通である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：予算計上がなく未実施である。今後、建設部との協議を進めながら必要に応じ予算要求を行い、整備を進めていくこととなる。	判断理由：事業先送りとしており、評価が難しいことから「普通である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				手段の見直し										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：令和7年度にB&Gスポーツ交流交歓会【水上の部】を開催予定であり、乗り場の整備を行う予定。				R8：				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×

事業名	市営球場備品購入事業				事業期間	令和３年度 ～ 令和３年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第７期総合計画の位置付け	3－5－2	他に関連する基本事業	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	所管課係	スポーツ振興課振興係
目的（何のために実施するのか）	体育施設の整備充実に努めることにより、誰もが安心してスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。							手段（どのような方法で実現するのか）	市営野球場にバッティングゲージ等を設置する。					
対象（誰・何を対象としているのか）	市営野球場及びその利用者。							成果（どのような効果が得られるのか）	球場周辺の歩行者や車への飛球による危険性を軽減し、利用者が安心して施設を利用することができるようになる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	本球場は、旧三井東圧が所有していた球場を同社から譲渡を受け、昭和56、57年にかけて全面改修を行い市営球場として現在に至っている。その後、昭和63年にフェンス及びピッチャーマウンドの改修、平成２年に夜間照明施設の設置、平成16年にスコアボードの屋根復旧、翌17年には本部席とダッグアウトの改修工事を行い整備を図ってきた。 平成29年度にスコアボード、フェンス及び防護柵、観客席のベンチ、グラウンド内の暗渠管及び排水溝の取替えなど、改修工事を行った。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次(3年度)	第２年次(4年度)	第３年次(5年度)	実施３カ年合計	第４年次(6年度)	第５年次(7年度)	第６年次(8年度)	実施３カ年合計	第７年次(9年度)	第８年次(10年度)	第９年次(11年度)	第10年次(12年度)	実施４カ年合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,386,000			1,386,000				0					0	1,386,000
		予算計上額	1,386,000	17,655,000		19,041,000				0					0	19,041,000
		実績額	1,375,000	16,940,000		18,315,000				0					0	18,315,000
	事業費合計	計画額	1,386,000	0	0	1,386,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,386,000
		予算計上額	1,386,000	17,655,000	0	19,041,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,041,000
		実績額	1,375,000	16,940,000	0	18,315,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,315,000
	事業費予算の内容		備品購入費	工事請負費												
	前年度予算との比較（増減理由）															
	実績との比較（増減理由）		入札による減	入札による減												

【ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ】

指標の推移・評価

活動指標１（「手段」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標１（「成果」をもとに設定）	指標名：　—	指標の求め方：成果指標の設定が困難であることから設定しない

			第１次実施３カ年計画				第２次実施３カ年計画				第３次実施４カ年計画					第７期総合計画合計
			第１年次（3年度）	第２年次（4年度）	第３年次（5年度）	実施３カ年合計	第４年次（6年度）	第５年次（7年度）	第６年次（8年度）	実施３カ年合計	第７年次（9年度）	第８年次（10年度）	第９年次（11年度）	第10年次（12年度）	実施４カ年合計	
事務事業評価	指標	活動指標１（単位／　）計画値														
		活動指標１（単位／　）実績値														
		成果指標１（単位／　）計画値														
		成果指標１（単位／　）実績値														
	評価内容	事業の達成度（活動指標をもとに評価）				達成されている										
		事業の成果（成果指標をもとに評価）				上がっている										
		事業の効率性（事業費に対する成果）				上がっている										
		総合評価				良好である										
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：バッティングゲージ及び防球ネット等を整備したことにより、利用者の安全管理を図ることができた。	自己分析 野球場市道沿いに防球ネットを整備したことにより、ファウルボール等による歩行者や通行車両への事故防止を図ることが出来た。	自己分析：	判断理由：野球場及び野球場周辺の安全管理を図ったことにより、利用者が安心して施設を利用することができるようになった。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				完了										
	方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5：令和３年度にバッティングゲージ及び防球ネット等の整備、令和４年度に防球ネットを整備したことにより、事業が完了した。				R8：				R10：					